



- 若年性軽度認知症・高次脳機能障害ケアセンター
- 地域学童保育・子育て支援センター
- ケアマネジメントセンター
- 土曜日プログラム

まどか * 円 * えん * 縁 * えにし * 縁 * えん * 円 * まどか

早いもので、もう3月。今年度・今学年も終わってしまいます。

ついこの間、ほやほやの1年生としてまどかに通い始めたこどもたちも、いつの間にか大きくなって、すっかりお兄さんお姉さんの雰囲気。まどかは第二の家庭とはいえ、時間的には限られた中での見守りに過ぎません。1年間の保護者さんのご苦勞やご心配は、さぞかし大きいものがあったと思います。心から敬意を表したいと思いますし、少しでも役に立てたらと、思いを新たにしているところです。

また、家庭介護をされているご家族のパワーや心の受容力にも、感心させられ、勉強させられた1年でした。

まどかは今年「しぜんでふつう」をモットーに活動していますが、そのためには、見えないところで、ものすごく努力しなくてはならないということを改めて感じていますし、その思いを力に換えて、新たな年度に突入していこうと思っています。

今年度も、どうぞよろしくお願い致します。



ちかごろの まどか

常陽リビング紙にも掲載されましたが、まどかで実施している「認知症高齢者介護相談事業」が、「平成23年度茨城県自殺予防対策モデル事業」に採択されました。

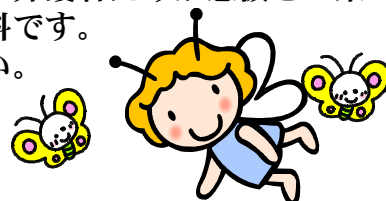
我が国における自殺者は、年間3万人を超える状況が続いています。一方、交通事故死亡者は、統計の取り方にもよりますが、年間5千人を下回るようになっています。自殺者数の多さが際だっており、政府でも対策を強化しているところです。

まどかでは、認知症高齢者を在宅で介護されている家族の相談を受けたり、来所して一緒に過ごして頂いたりして、介護に対する負担感を軽減して、うつや自殺・虐待を予防することを目的に、相談事業を始めました。

定期的な利用者もあって、まどかで日中過ごして行かれます。気候が良くなったら外出も一緒にできそうだと、「歩きはじめたミーちゃん」ではないけれど、早く暖かくなれないかと、楽しみに待っているところです。

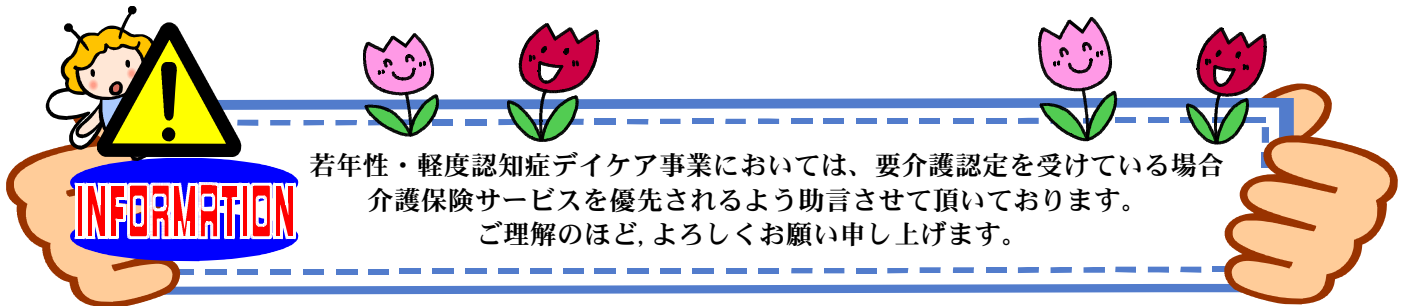
サービスは平日の9:30~15:30 来所・電話・ファックス相談の他、介護者とともにまどかに来て日中過ごしていくこともできます。また、介護者だけが息抜きに来所する事もできます。利用料は、食事代などの実費を除いて無料です。身近に、もしも心当たりの方があれば、ご紹介・ご一報ください。

専用電話 029-867-5233



◆デイケア事業

「介護保険非適用」をうたっているまどかには、いろいろなニーズが持ち込まれます。『それは介護保険事業所の役目でしょ！』というものも多いけれど、それは裏を返せば『現実には不満』な利用者さんやご家族が多いということではないでしょうか？ 私達にしかできないニッチな（隙間の）ケアを通して、利用者さんやご家族の日常生活の支えになればと思っています。現在、筑波大学の主導で、つくば市を中心にした、認知症に関する疫学調査が進められています。地域における社会資源としてのまどかも、活躍する場が増えそうです。



若年性・軽度認知症デイケア事業においては、要介護認定を受けている場合介護保険サービスを優先されるよう助言させて頂いております。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援

軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなどいわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。その他、様々な利用者のニーズに個別に対応しています。内容によって利用料が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

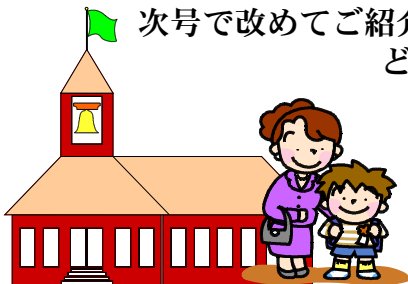
学童保育部門

平成24年度より、利用料のうち「スポット」利用の考え方を改めます。今までは、事前に登録していれば、例えば半年に1回だけ利用しても、メンバー料金でしたが、良好な指導・援助のためには、継続した利用が望ましく、継続利用者を「メンバー」と明確にすることにしました。具体的には1か月3回以下又は1か月10時間以下の利用の場合、その月はスポット利用として算定することに致しました。まどかのイベント等の場合は例外とします。ご理解のほどよろしくお願い致します。

新入職員！！

学童保育指導員として4月から飯竹香緒里さんが入職します。今までも、学生バイトとして、こどもに人気のスタッフでした。

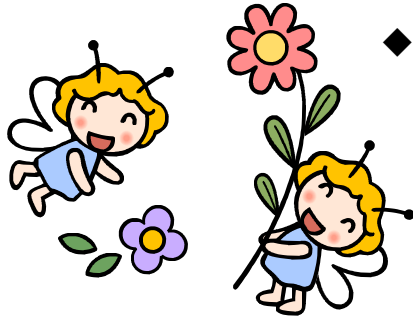
次号で改めてご紹介しますが、何はともあれ、どうぞよろしくお願い致します。



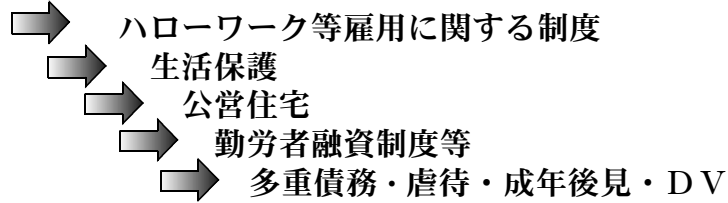
◆就学後の特別支援学童保育も可能です

あらゆるニーズにお応えするのがまどかのコンセプト！制度で対応できない発達期の支援についてもお気軽にご相談ください。

- ◆介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業所との連絡調整を行います。
- ◆医療・福祉制度に関する相談をお受けし、利用可能な制度のご紹介や連絡調整を行います。
 - ◎障害者自立支援制度
 - ◎児童福祉・母子福祉・子育て支援・奨学金制度
 - ◎精神保健・こころの相談
 - ◎認知症高齢者在宅介護相談



- ◆失業・生活資金・住居等に関する相談をお受けし、関係機関のご紹介や連絡調整を行います



まどかサポーターのご案内

- ◆会員 平成24年度から、サポーターの年会費を下記の通り改定致します。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・年会費 5千円
 準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

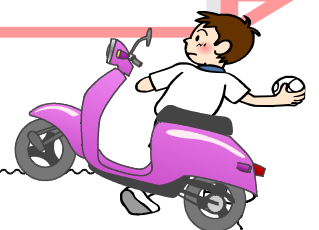
★サポーター目標は100名です。開設後2年以上、100名で『認定NPO』になることができます。サポーター数増強のため、一人あたりの会費を改定し、入会しやすくすることが目的です。

(24年3月1日現在 正会員37名 準会員14名)

会員特典！！ 24年度、会員証を発行します。茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。

スタッフ短信

今回は まどかの住人 渡辺亮（りょうさん）のご紹介



25年の短い人生街道を、ちどり足で歩いている若輩者であります。そのせいか人の気持ちも分かるところもあるし、反対に自己陶醉に浸っているところもあって、みなさまにご迷惑のかけっぱなしです。これまでもこれからも平にご容赦ください。
 晴れて通信制大学の教育学科を近々卒業予定。小学校教諭一種の資格取得目前のため有頂天。幼児の頃から筋金入りの保育所・学童育ち。経験を活かした指導を心がけていますが、人に嫌われたくないものだから、つつい大甘のただのお兄さんになってしまいます。気をつけろ～！！
 小さい頃から野球に浸り、甲子園出場はかなわなかったけれど、野球を通じた人間関係が財産になっており、どこの球団の誰とかさんとリアルに対戦したことが自慢。但し結果は言わぬが花、聞かぬが花。スポーツに熱中したあまり、学力向上は置いてきぼり。人間そんなに上手くできていません。自分の経験を基に、不登校が卒論テーマ。そんな心の悩みにも寄り添える指導員になることが夢。体育会系のノリで、これからどんな道を切り拓くのか、みなさん楽しみに見守っててください。（といっても、まどかにはまだいますよ。まどかを卒業するには単位が全然足りないの・・・）

「土曜日プログラム」



土曜日プログラムが大盛況です。

まどかの考える「ソーシャルインクルージョン」を拡げていくために、講師の先生達も協力を惜しまずに、参加してくださっています。心から感謝です。

年間を通じてプログラムを行っていますので、是非、参加されてみてはいかがでしょうか？

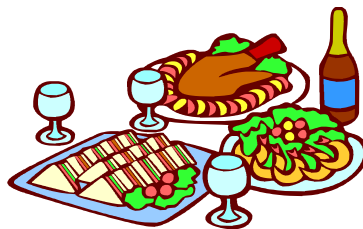
4月以降の土曜日プログラム

◎4月 7日 10時～14時

お花見イタリアン

恒例！関口シェフのイタリア料理教室

& スクールカウンセラー 水嶋洋子先生の プレゼンテーション&カウンセリング



◎5月11日 10時～12時

心理ワーク

講師 認定心理カウンセラー 武藤幸枝先生

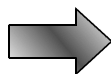


詳しくはホームページで検索

ボランティア

まどかでは、学童保育を手伝っていただけるボランティアを募集しています。いろいろな資格や経験を活かして、お手伝い頂ければとても嬉しいです。いっしょに地域福祉を拡げていきませんか？

お問い合わせは



ホームページで！！



*** ゆめのあとさき ～編集後記～ ***

歴史的な寒波でした。地球温暖化なんて言っているのが嘘のような寒さでした。1年前、もう何が起ころうとも驚かないかと思っていたけれど、この寒さには驚きました。やはり自然にはかなわない。そのため、筑波山や水戸の梅は全然開花していません。梅娘も手持ちぶさたでしょう。そういえば借樂園の梅娘は50代目なんですって。桜は時期を過ぎると『姥桜』などど揶揄されるけれど、梅は古木になればなるほど風格と風雅さが加わります。かつての梅娘さん達もますます艶やかでした。閑話休題。震災から1年。報道がなければ、記憶が薄れているところですね。災害のあるなしにかかわらず、私達福祉関係者は、ずーっと前から他人の自己実現のために汗流していますし、これからは未来永劫何があってもそうなんです。それがふつうであたりまえなんです。ただ、震災をきっかけに、他人の幸せを一時でも考えた人が増えたことは、その部分では意義があったなと思えてなりません。

◇文責 理事長 渡辺隆生 (つくば国際大学講師 社会福祉士)

NPO法人 まちなか交友館



まどか

特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒300-4231 茨城県つくば市北条51-1

電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118

ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>

利用条件等はホームページでご確認ください